

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 6日

事業所名

ふれんず甲子園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		学習スペースの敷居を作り視覚支援を行っています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			児童2:職員1の割合以上で支援に携われる体制を作っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		建物の2階部分にあり、室内の設備の配慮を実施
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			コロナの状況もあり、少人数(常勤職員)での実施⇒周知という体制になっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年度公表を行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年度公表を行っています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	西宮市通所支援事業者間で相互評価を行っています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		法人内の事業所職員が集まり研修を実施しています。	西宮市の障害児通所支援事業者が集う場所で、虐待に関する研修や、事例検討会等に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		コロナの状況もあり、お電話での面談の設定をとるケースもある。	担当者会議によるモニタリングシートを用いて、保護者様との面談を行い、ニーズや課題の再確認を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	事業所独自の方法で状況把握に努めています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		社員からパート職員にも意見をもらうよう取り組んでいます。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日替わり、週替わりの運動活動、製作活動等を実施しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		日に応じたきめ細かな設定はしておりませんが、1人ひとりに応じた目標設定に取り組んでいます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別⇒集団へ活動の幅が広がるよう計画を立てています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		個別支援の内容を打ち合わせ時に共有しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の振り返りを支援終了後に時間をとっています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援計画書に沿った内容の記録をとっています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		基本的な予定変更等は保護者様から連絡を頂いています。状況に応じて学校との連携を図っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		該当児の受け入れはありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援事業所を通じて情報共有してもらっています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		今年度、該当児はいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナの為、今年度は取り組んでいません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		新型コロナウイルス感染拡大防止の為不参加。今後は積極的に参加したいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や、連絡帳にて共通理解を図っています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明いたします。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		お電話でのやりとりに加え、家庭連携加算を用いて保護者様、お子様との連携を事業所外でも取り組んでいます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		新型コロナウイルス感染予防の為開催できませんでした。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		窓口を設置しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月事業所利用者様限定のだより(ふれんずだより)を発行しています。	LINEアカウント、Instagramアカウントを作成し、定期的にご利用者様への情報伝達や活動のようすを発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		情報伝達の必要時応じてお電話にて対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		グループ会社で高齢者デイサービスの運営をしておりますので、交流の機会等を検討しています。(コロナの状況による)

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			周知後、マニュアルを活用したシミュレーションが実施不足の為、意味のあるものに繋げていくため進めていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			訓練日に利用児童全員が参加できない為、週間に設定して行えるように計画したいと思います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		法人内の事業所職員が集まり研修を実施しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		組織的な形ではなく、必要に応じて保護者様と相談しながら進めています	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様から事前に情報を頂き、一覧表を作成しています。	医師の指示が必要になる利用児はいません
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員が確認できるように記録しています	